



## 北朝鮮の核兵器・弾道ミサイルの脅威の変化 -その影響と対応は-

2018年1月

軍事・情報戦略研究所長（軍事アナリスト）西村金一

### 講演概要：

北朝鮮は現在、米国に届く ICBM を開発し、核兵器小型化の最終段階に入っている。米国と北朝鮮の2国間関係では、軍事的危機に突入か交渉かのぎりぎりの状態だ。ここにきて、交渉を始め合意に達するのか、金正恩委員長を暗殺する斬首作戦を実行に移すのか、あるいは南北間で紛争になり、北朝鮮と米韓がミサイルを撃ち合うような戦いになるのか。その予測分析結果を、下の順序で解説する。

その結果により、日本（新潟県）への影響を考察する。その際、それぞれの事態を説明しながら、影響を解説する。

北朝鮮の軍事的脅威において、最も注目すべきことは、何か

### 1. 北朝鮮の核開発と実験

- (1) 6回までの核実験をどうみるか
- (2) 核兵器小型化の現実性
- (3) 水爆の現実性

### 2. 北朝鮮ミサイル実験と能力

- (1) 弾道ミサイル（ICBM）開発の分析

#### ア 火星15号の実験

火星15号の特色は

今年の4月15日の軍事パレードに出現したミサイルは

KN-08とKN-14ミサイルはどうなったのか

火星12号・火星14号との違い

#### イ ミサイルはどこに照準を当てられているか

米国、ハワイ・グアム、沖縄、日本本土、韓国に向けられている

- エ 多弾頭ミサイル開発、固体燃料の開発
  - 多弾頭ミサイルの開発はどこまで進んでいるのか
  - 固体燃料の開発はどこまで進んでいるのか

- (2) 北朝鮮の対艦ミサイルと対艦弾道ミサイルの現状分析、特に能力分析、戦い方（イメージ）

- ア 対艦ミサイルとは

- イ 対艦弾道ミサイルの狙いと実現の可能性は

- (3) 北朝鮮潜水艦発射弾道ミサイルの現状解析と将来予測、特に能力分析

- ア 潜水艦から発射されているのか

- イ 弾道ミサイルの能力

- ウ 弾道ミサイル潜水艦の能力

- エ 将来予測

- (4) 日本の弾道ミサイル防衛は

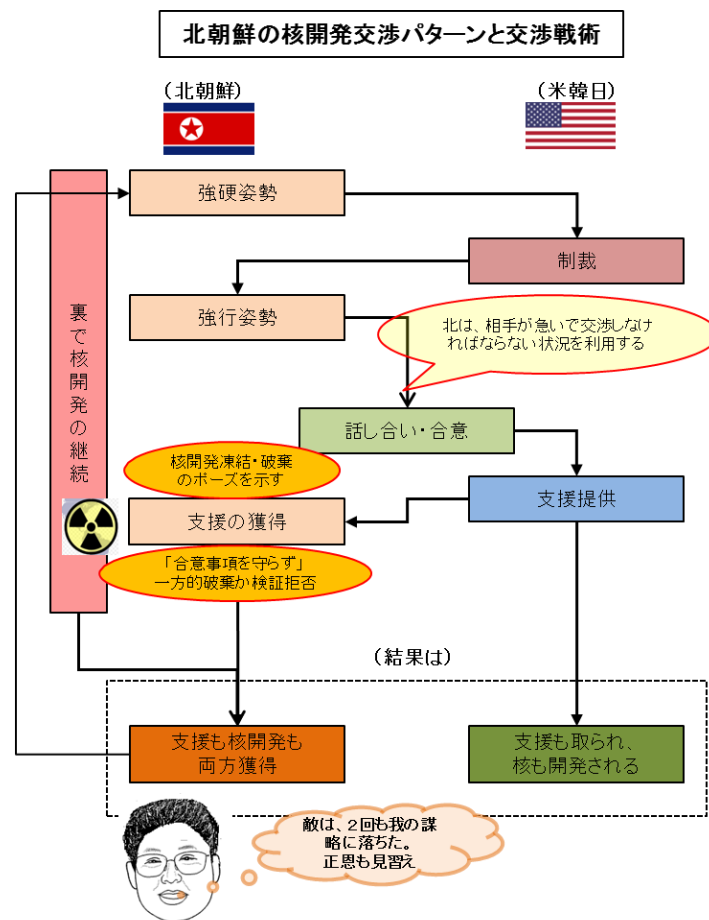
### 3. 現在心配なことは

- (1) 日本海における、米軍、北朝鮮の動き
- (2) 金正恩体制内部で、今、起きている不思議なこと
- (3) 北朝鮮特殊部隊が心配
- (4) 日本に難破している北朝鮮の漁船は、何者か
- (5) 北朝鮮が砲撃するとどうなるのか

### 4. 米朝交渉の難しさ

- (1) 北朝鮮は、合意を守るのか

(2) 北朝鮮とはどのような国家なのか、過去を振り返って見ると



(3) 北朝鮮が交渉により、核・ミサイルを放棄する可能性はあるのか

## 5. これから生起する事態と日本への影響

(1) 米国による北朝鮮へのミサイル攻撃

成功：日本への核の脅威が無くなる

失敗すれば：日本へのミサイルと特殊部隊攻撃、海中からの魚雷攻撃

(2) 日本海での軍事的偶発事案から戦争へ

同じ（韓国が北進する可能性少ない）

(3) 金正恩体制崩壊

圧力による自然崩壊：中国の傀儡政権誕生か

米国の斬首作戦成功による崩壊：同じ

(4) 北朝鮮の暴発

軍事境界を越えて南侵攻撃

韓国への砲撃

日本へのミサイル攻撃、特殊部隊による攻撃（誰かを特定できない）

(5) 上記の場合、難民の可能性